



spolab rookie league 2022

開催要項

本大会は、関東・東海地域の U-16 の年代において長期にわたるリーグ戦を通して、選手の育成及び指導者のレベルアップを図り日本サッカーの形成に資することを目的とする。

また、ルーキーリーグジャパンへの参加を目標とし、地域の活性化、底上げに貢献するものとする。

- | | | |
|------------|---|--|
| 1名 | 称 | spolab rookie league 2022 |
| 2主 | 催 | spolab rookie league 2022 大会実行委員会 |
| 3メディアパートナー | | (株) グリーンカード |
| 4期 | 間 | 2022 年 4 月～9 月
開幕集中開催 4 月 23 日（土）～24 日（日）
閉幕集中開催 9 月 10 日（土）～11 日（日）
※開閉会式の開催は、コロナの状況をみて判断する。 |
| 6参 加 校 | | 正智深谷高校 八千代高校 三浦学苑高校 愛工大名電高校
東京朝鮮高級学校 高崎商業高校 平塚学園高校 浦和南高校
細田学園高校 中央学院高校 國學院栃木高校 実践学園高校
成立学園高校 多摩大目黒高校 大森学園高校 健大高崎高校
相洋高校 共愛学園高校 成徳深谷高校 横浜創学館高校
日大明誠高校 |
| 7試 合 会 場 | | (1)関東・東海地域のローン・人工芝のグラウンドを使用する。
(2)ホームチームが会場の確保をすること。
(3)集中開催は時之栖開催とする。 |
| 8参 加 資 格 | | (1)(公財)日本サッカー協会第 2 種加盟を完了しているチームとする。
(2)(公財)日本サッカー協会への個人登録を完了している者とする。
(3)所属高校の 1 年生であること。
(4)リーグ戦にはベストメンバーで臨むこと。
(5)OA については、GK に限り登録することができる。ただし 1 年生を優先的に起用すること。(OA 枠の選手も選手登録が必要。事務局,対戦相手に事前申告すること)
(6)外国人留学生の参加は認めない。 |

- (7) 4月15日(金)までに大会選手登録を行うこととする(人数制限はしない)
- (8) 追加選手登録は都度行うものとし、試合2日前までに登録完了した選手を出場させることができる。

- (9) 参加費、各種提出物を期限までに提出できないチームの参加は認めない。

9大会審判

- (1) 主審は会場校が責任を持って資格のある審判を用意すること。
- (2) 主審に関しては、相互審判を認めない。
- (3) 主審に関して派遣が困難な場合、相互審判は行わず当事校のスタッフが1試合通しで行うことを認める。規定の審判料を支払う。
- (4) 主審に関しては、ユース審判(有資格者)を割りあてることがある。
- (5) 主審の審判料は原則として7,000円とする。審判料については対戦チーム間で折半する。
- (6) 副審は対戦チームから1名ずつ出し、資格を有するユース審判のできる限り行う。

10試合球

ミカサ製「FT550B-BLY」を使用する。

11大会負担金

- (1) 参加費 40,000円
(事務局管理費/ホームページ掲載費/グラウンド代/審判代)
- (2) 試合球購入費 22,440円(3球分)
- (3) 振込期限 4月15日(金)までに指定口座へ振込にて納入すること。
※振込手数料は各自負担となります。
※但し、次の費用は使用したチームで、別途分担して支払うこととする。
 - ・有料の公共施設を使用した場合の「施設使用利用料金」
 - ・派遣審判の「審判料」

12競技方法

- (1) 当該年度(公財)日本サッカー協会制定の規則による。
- (2) 21チームを2ブロック(11チーム・10チーム)に編成する。
- (3) 試合時間は90分(45-15-45)とする。
- (4) 交代人数は試合開始前に提出された交代要員(無制限)のうち、8名を限度として交代することができる。
- (5) ブロック順位決定規定
 - ① 勝点(勝ち:3点・引き分け:1点・負け:0点)
 - ② 得失点差
 - ③ 総得点
 - ④ 当該チーム対戦成績
- ※「緊急事態に対する規定」を定め、未消化などの特殊事情が発生した際はその規定を優先する。
- (6) リーグ戦中「累積警告」は行わない。但し、同一試合中に2回警告もしくは退場を命じられた選手は即座に退場となる。警告者、退場者には教育的な

観点から各チームに指導をお願いする。

- (7)前後半飲水タイムを設ける。ランニングタイムとしアディショナルタイムにはカウントしない。
- (8)各リーグの成績により、閉幕集中開催2日目に同順位同士の順位決定戦（Aブロック11位はTM）を行い、1位から21位を決定する。
2023年度は2部リーグ制にし、1位から10位を1部リーグ、11位から21位を2部リーグとする。

13 関東 ROOKIE LEAGUE 新規参入について

- (1)関東 ROOKIE LEAGUE の規約による。
- (2)関東 ROOKIE LEAGUE に退会チームが出た場合。
- (3)関東 ROOKIE LEAGUE が入れ替え戦規定を設けた場合。
- (4)上記の場合には当リーグに所属のチームから選考されることになる。
- (5)別紙、関東 ROOKIE LEAGUE 新規参入条件を参照

14 備考

- (1)ユニフォームは、色彩が異なり判別しやすいものを必ず正副2着用意する。
審判員が通常着用する黒色と同色又は類似色の上着を用いることはできない(公益財団法人日本サッカー協会「ユニホーム規定」第5条①)
- (2)縞のユニフォームは台地に背番号を入れること。
- (3)参加資格に違反やその他の不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。その場合、同チームが関係する全ての試合結果を抹消する。
- (4)リーグ途中で参加棄権等があった場合は、同チームが関係する全ての試合結果を抹消する。尚、そのチームは次年度よりの参加を認めない。
- (5)参加チームは、各チームにおいて傷害保険等に加入すること。

15 悪天候時のガイドライン

- 悪天候（暴風、大雨、雷など）による大会実施について以下の通り規定する
- (1)大原則は、選手の安全確保である。安全第一の判断を行うこと。
 - (2)各種警報が発令された場合は、原則試合実施を中止する。
 - (3)試合中、雷の発生がみられた場合は、当該チームの指導者及び主審の判断で一時試合を中断させること。
 - (4)試合を中断した場合、再開の可否の判断は30分以内とする。30分で判断できない場合は中止とする。
 - (5)試合を中止した場合、中止した時間が後半30分以上経過している場合は、試合が成立したものとみなしその結果を採用する。
 - 中止した時間が、後半30分を経過していない場合、後日その時間以降の試合を再開させる。
 - 再開の際のメンバーは原則両チーム同じメンバーで行うこととする。(会場、審判はその限りではない)
 - 再開する試合は中止した日から30日以内に消化できるように努力する。

- (6) 予定した試合が天災などによるもので開催が不可能になった場合は
11 月末までに消化する代替日程を用意することとする。
- (7) 上記に規定すること以外の問題発生については、臨時理事会を開催
し、その調査並びに方向性について諮るものとする。

16 緊急事態時における対応について

- (1) 全国ルーキーリーグ事務局より指針発信予定（別紙）
- (2) リーグの全試合の 70% の消化が大会成立の条件（例: 32 試合 / 45 試合）
- (3) 1 チーム当たり、70% の消化で順位決定の権利成立（例: 7 試合 / 9 試合）
- (4) 全チームの消化試合数が同じ場合は、通常勝ち点で決定。
- (5) 全チームの消化試合数がばらつく場合は、勝率で決定。
- (6) 1 チームの 70% 消化が出来ないチームが出た場合、代表役員会を招集
し協議する。
- (7) 勝率の考え方

消化試合数の最大勝ち点（全試合勝利）を分母とし、総勝ち点（引き分け含む）を分子にして計算する。

- 例) 8 試合消化 5 勝 1 分 2 敗の場合 勝ち点 16 / 最大勝ち点 24 0.66 (66%)
- 8 試合消化 6 勝 2 敗の場合 勝ち点 18 / 最大勝ち点 24 0.75 (75%)
- 7 試合消化 5 勝 2 分の場合 勝ち点 17 / 最大勝ち点 21 0.809 (81%)
- 7 試合消化 6 勝 1 敗の場合 勝ち点 18 / 最大勝ち点 21 0.857 (86%)
- 6 試合消化 5 勝 1 敗の場合 勝ち点 15 / 最大勝ち点 18 0.833 (83%)
- 6 試合消化 4 勝 2 分の場合 勝ち点 12 / 最大勝ち点 18 0.66 (66%)
- 6 試合消化 1 勝 5 敗の場合 勝ち点 3 / 最大勝ち点 18 0.166 (17%)
- 6 試合消化 0 勝 3 分 3 敗の場合 勝ち点 3 / 最大勝ち点 18 0.166 (17%)